

豊水第34号

豊下第41号

2025年6月2日

豊岡市公営企業審議会

会長 都築 洋一郎 様

豊岡市長 門間 雄司

今後の水道料金・下水道使用料のあり方について（諮問）

水道・下水道は、市民生活を守るライフラインであり、安全で安心な飲料水を安定供給し、また、環境にやさしい水循環システムと快適な暮らしを確保するための重要な役割を果たしています。

上下水道事業を取り巻く状況は、人口減少や節水機器の高性能化などにより、水需要が減少傾向にあります。

近年、全国的に水道管・下水道管の老朽化による破損事故が頻発し、また能登半島地震をはじめとする大規模災害では水道管・下水道管の復旧が難航していることから、老朽管の適切な更新と耐震化が喫緊の課題となっています。

上下水道事業の経営においては、現有施設の規模の適正化や効率的な運用を図り、将来にわたり持続可能な経営基盤を確立することが必要です。

現在の料金体系は、2022年度から2026年度までの5年間を算定期間とし、2027年3月で算定期間を終了します。

水需要が減少傾向であることから、水道料金・下水道使用料についても減少傾向にあり、事務の効率化や投資の合理化を図ってもなお厳しい経営状況が見込まれ、持続可能な経営基盤の強化を図るためには両事業とも適正な料金水準の確保が必要です。

つきましては、今後の水道料金・下水道使用料のあり方について、多角的な視点からご審議いただきたく、貴審議会に諮問いたします。